

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	神経行動形質を決定付ける遺伝子—環境相互作用の細胞機構
研究代表者	山元 大輔（東北大学・大学院生命科学研究科・教授） ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>応募者は、ショウジョウバエの配偶行動の発現メカニズムについての研究を、個体から分子をターゲットとして長年にわたり展開しており、その研究業績は常に世界のトップレベルにある。本研究は、遺伝子と環境の相互作用による行動の発現メカニズムの解明を目指すという新しい試みである。国際的な競争が厳しい分野であるが、応募者は独自の解析システムを保持しており、また、研究計画は明確でありながら柔軟性も兼ね備えていることから、本研究の遂行により十分な学術的研究成果や社会に与えるインパクトが期待できる。よって、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>